



車いすラグビー体験も 介護福祉学校特別講義

北海道介護福祉学校の特別講義が11月5日、スポーツセンターで行われました。車いすラグビーのチーム「SILVER BACKS」のメンバーが、障がいを受け入れるまでの過程などについて講演。その後、車いすラグビーのルールや、車いすの操縦方法の説明を受けた参加者はミニゲームを体験し「車いすの操作が難しかった」「また体験してみたい」などと話していました。



1日限定のものづくり体験 ハロウィンワークショップ

あさひ工房で試行運営中の「ファブラボ栗山β」を子どもたちに知ってもらおうと、ハロウィンワークショップが10月30日に行われました。地域おこし協力隊の指導のもと、参加者はレーザー加工機や3Dプリンターを使って、ハロウィンデザインのオーナメント（飾り）やキーホルダーなどを作成。機械を使ったものづくりに、緊張しつつも楽しそうに取り組んでいました。



産卵床の整備体験も 故郷の川クリーン大作戦

サケの見える化プロジェクト2021～故郷の川クリーン大作戦&産卵床づくりが10月24日に行われました。参加者は雨煙別川に入り、万年橋から中央橋の間を上流に向けて歩きながら、空き缶などのごみを拾い集めました。一般社団法人栗山青年会議所の西岡政則理事長は「サケの帰ってくる川を守るため、これからも継続的に清掃活動に取り組んでいきたい」と話していました。



食欲の秋に1周年を祝って ヤムズキッチンテイクアウト市

まちなかレストラン「ヤムズキッチン」の1周年記念テイクアウト市が、10月23、24日に栗山駅南交流拠点施設準備事務所（旧岡嶋商店）前で行われました。ヤムズキッチンのシェフ7組が出店し、テイクアウトメニューを提供。また、町産栗の活用事業の一環として、地域おこし協力隊が自ら作成したDIY屋台を用い、栗をふんだんに使ったお汁粉を来場者に振る舞いました。



「すてるまえに活かそう」 消費者ひろば2021！

栗山消費者協会の「消費者ひろば2021！」が11月14日、勤労者福祉センターで行われました。同協会の創立50周年記念事業として実施。栗山赤十字病院管理栄養士の真井睦子さんによる健康講話や、日用品・雑貨・和服などの展示・リフォーム販売などが行われました。毎年参加されている坂田良子さんは「今年も買い物を楽しむことができてよかった」と話していました。



鈴の音に合わせ練習の成果発揮 子供傘踊り発表会

子供傘踊りの発表会が11月13日、南部公民館で行われました。例年9月に行われていた継立神社秋祭りでのパレードが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となったことから、継立町内連合会、継立商工振興会、継立子供育成会の共催により開催されました。19人の児童が「栗山音頭」「栗山小唄」の2曲を踊り、練習の成果を披露しました。



追分駅に向け初乗車 継小1、2年生がJR室蘭線に体験乗車

継立小学校の1、2年生が10月29日、JR室蘭線の乗車体験を行いました。生活科の授業の一環として、今年度初めて実施。乗車前には、目的地であるJR追分駅の島田康寛駅長とともに、実際に改札を通して列車を待ちました。子どもたちは、事前学習で学んだ列車に乗るときのルールやマナーを確認しながら、笑顔で乗車していました。



ハロウィンパレードで地域交流 継立まつば保育園

継立まつば保育園のハロウィンパレードが10月26日に行われました。ハロウィンを通じた地域の方々との交流が目的で、今年度初めて実施。仮装した園児たちは、継立郵便局、ハローENJOYつぎたて5、南部公民館を訪れ、各職員からお菓子を受け取りました。園児たちは「好きなキャラクターになれたので、また来年もやりたい」などと話していました。

